

水質保全みえ

No.76 平成 29 年 1 月

発行/(一社)三重県水質保全協会 〒514-0004 津市栄町三丁目119
TEL 059-226-2058 FAX 059-227-8402
<http://www.mieken-suisituhozenkyokai.or.jp/>

目 次

- ・新年の挨拶 会長…………… 2
- ・年頭の御挨拶 知事…………… 3
- ・10/3浄化槽大会出席 …… 4
- ・要望書提出、(公財)日本環境整備
教育センター50周年式典出席 …… 5
- ・浄化槽管理士講習・浄化槽技術管理者
講習会実施案内 …… 6
- ・保守点検講習会の開催、浄化槽保証登録制度 …… 7
- ・年末年始のご案内、会員ニュース …… 8



迎春

2017



新年の挨拶

一般社団法人 三重県水質保全協会

会 長 松 平 仁

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より当協会事業につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も会員の皆様のご期待に添えるよう、また、協会の発展の為、尽力致す所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、平成28年を振り返りますと、昨年は浄化槽保守点検の実務者講習会を開催致しました。

今回の講習会では、(株)安永エアポンプ及びフジクリーン工業(株)に講演を行って頂き、39名が参加致しました。フジクリーン工業(株)の新型のCA型実物大のカットモデルを使用したの講演は大変好評でしたので、今後も新型の浄化槽が発表されたら積極的に保守点検講習会に取り入れたいと思います。

また、浄化槽工事検査事業の推進の為、浄化槽工事検査推進委員会を立ち上げ5月、6月、9月と3回委員会を開催し、工事検査をPRするための設置者向けと業者向けの2種類のチラシを制作しております。今後の協会の重要政策の1つと考えている事業であり、会員の皆様方も是非ともご協力お願い申し上げます。またそれに合わせて浄化槽機能保証制度の活用も取り組むことも考えております。浄化槽の機能異常の原因者の特定、機能の正常化のために講ずべき措置の検討等を行う三重県地方保証制度審査委員会に於いて審査を行うときに浄化槽工事検査の写真を活用することによって、より正確な判定ができるので施工業者の皆様の責任が明確に証明できるものになると思います。

浄化槽工事検査と浄化槽機能保証制度をセットで組み合わせることによって将来的な万一のクレームにも対応が可能です。浄化槽施工に対する安心・安全を県民の皆様方にお届けできる素晴らしい事業の為、協会の重点課題とし、県民の皆様方に周知して頂けます様、拡充を図ってまいります。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。関係各位及び会員の皆様に期待される協会を築きあげていくため、今後ともご協力、ご指導を賜ります様よろしくお願い申し上げます。



年頭の御挨拶

三重県知事

鈴木 英 敬

新年あけましておめでとうございます。

平素は、本県の浄化槽行政の推進にあたりご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成27（2015）年12月、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）がフランスのパリで開催され、新たな気候変動対策の国際的枠組みであるパリ協定が採択されました。

そして、平成28（2016）年5月に開催された伊勢志摩サミットでは、パリ協定の早期発効をめざすことが確認されるとともに、国際的に協調して資源効率性や3Rに取り組むことを示した富山物質循環フレームワークが支持されました。

本県では、「幸福実感日本一」の三重をめざし、「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりを着実に進めるための「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」に基づき、さまざまな施策、事業等に取り組んでいるところです。

とりわけ生活排水対策については、「みえ県民力ビジョン」のめざす姿の実現に向けて、「環境基本計画」に加え、平成28（2016）年に定めた「生活排水処理アクションプログラム」に基づき、関係機関と連携して生活排水処理施設の整備促進に取り組むなど、総合的かつ計画的に推進を図っていきます。

本県の生活排水処理施設の整備率は、平成27年度末で82.6%と着実に進展してきましたが、全国平均の89.9%と比較すると依然として低い状況にあり、未普及人口の解消が喫緊の課題となっています。

そうしたなか、本県の生活排水処理に占める浄化槽の割合は全国的に見ても高いところですが、昨今の社会・経済情勢の変化を踏まえると、弾力的な整備が可能な浄化槽の果たす役割は今後、ますます大きくなるものと考えられます。

そして、浄化槽の機能を十分に発揮し、良好な放流水質を維持するためには、適正な施工、保守点検、清掃、及び法定検査が重要です。とりわけ、浄化槽の施工や管理には近年の高度化、複雑化する浄化槽に対応するための知識の取得は欠かせないものとなっています。

貴協会の皆様におかれましては、さらなる技術の研鑽に努められ、引き続き浄化槽の適正な施工と維持管理にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝と貴協会のますますのご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

10月3日浄化槽大会に出席しました



全浄連 佐藤会長



片山政調会長代理と松平会長

平成28年10月3日、東京にて行われました「第30回全国浄化槽大会」に三重県水質保全協会からは、松平会長、川上事務局長が出席しました。

式典は午後2時から始まり、冒頭の挨拶には全浄連の佐藤 佑会長が挨拶されました。

続いて来賓挨拶の後、浄化槽適正整備推進決議の採択が行われ、一般社団法人浄化槽システム協会の福田 真一会長が決議を読み上げ、満場の一致で採択されました。内容は浄化槽の一層の整備促進、単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換促進、浄化槽整備区域の拡大、浄化槽の適正な維持管理推進、避難所への浄化槽設置など従来の5項目に加え、新たに「海外に向けた浄化槽の情報発信や海外研修生受け入れ強化などによる“持続可能な開発のための2030アジェンダ”目標達成への貢献」「浄化槽の普及やより良いユーザーサービスの提供実現へ、今後も発展し続ける体制の確立」の2項目が盛り込まれました。

浄化槽功労者表彰は、今年度は環境大臣表彰27名、国土交通省土地・建設産業局長表彰6名、国土交通省住宅局長表彰1名、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰を20名が受賞されました。また第30回全国浄化槽大会標語募集の結果発表が行われ、最優秀賞の「浄化槽 いつものために まさかのために」が選ばれ表彰状が送られました。

その後の記念講演では元環境事務次官の谷津 竜太郎氏が「浄化槽への期待」をテーマに講演を行いました。谷津氏は食糧輸入量を水に換算する「バーチャルウォーター」の考え、地球サミットや環境基本法など、これまでの流れを踏まえた持続可能な社会確立の必要性、水循環基本法の概要についてご自身の海外での経験を交えながら説明されました。その上で浄化槽を「処理能力が高く、水環境に与える影響が少ない優れた汚水処理施設」と紹介し、汚水処理を取り巻く社会情勢の変化、都道府県構想の見直し状況などに触れながら、PFI等の民間活用、ICTを活用した災害対応力の強化と台帳システム整備、海外展開など浄化槽への期待を述べられました。

午後5時からは懇親会が開かれました。来賓には環境省の山本環境大臣や伊藤副大臣、井林大臣政務官のほか、総務省の高市大臣、国土交通省の末松副大臣、また自民党からも浄化槽推進議員連盟の衛藤会長代理、公明党の山口代表など多数の国会議員が出席されました。

9/13 自民党に要望聴き取り会議に出席しました

平成28年9月13日に自由民主党三重県支部連合会へ要望書を提出し、要望聴き取り会議に出席しました。同日の平成28年9月13日に新政みえに要望書を提出しました。

(1) 平成26年10月1日から当協会が自主的に実施している浄化槽工事検査事業に対する県及び市町の協力を要望します。

平成26年から新築住宅の浄化槽に対する県の補助金が廃棄に伴い亀山市、度会町、松阪市、桑名市の新築住宅に対する浄化槽の補助金がなくなり無検査の浄化槽が徐々に増加しています。県民の皆様に適正な浄化槽施工を提供するために浄化槽工事検査事業を積極的に行ってまいりたい。

(2) 浄化槽の維持管理に対する助成制度の創設



会場風景 (9月13日 自民党)

浄化槽の維持管理費(保守点検・清掃・法定検査)に対して、国の助成制度はありません。市町では下水道の家庭使用料を補助するために、浄化槽使用家庭からの税金も入っている一般会計から下水道特別会計に補填がされています。税の公平負担という観点から浄化槽使用家庭に対しても、下水道使用家庭同様の維持管理助成がなされるべきであります。四日市市及びいなべ市がこの助成制度を実施していますが、まだ県内に広がっていません。県が積極的にこの助成制度を推進して頂くことを要望します。

(公財)日本環境整備教育センターの50周年式典へ出席しました

平成28年10月18日午前11時より、東京ビックサイトにて公益財団法人日本環境整備教育センター創立50周年記念式典が行われ、松平会長が出席致しました。廣瀬理事長の冒頭の挨拶に続き、来賓出席されました環境省、国土交通省、農林水産省、全浄連、全浄協から祝辞が寄せられました。次いで表彰式、記念シンポジウムが行われました。シンポジウムは「地域社会と共にさらなる豊かな水環境を目指して～循環型社会の構築に向けた新たな展開～」をテーマに4名のパネリストの方々が討論を行いました。

午後4時から祝賀会が開かれ、参加者は相互に懇親を深めました。



会場風景

浄化槽管理士講習・浄化槽技術管理者講習会実施案内

平成28年度「浄化槽管理士講習」実施案内

開催場所及び日程（受付期間が平成29年1月以降の分）

開催場所	講習期間	受付期間	受講申請受付機関
東京会場	平成29年 3月6日(月)～3月18日(土)	平成29年 1月27日(金)～2月3日(金)	(公財)日本環境整備教育センター TEL：03-3635-4880
福岡会場	平成29年 2月27日(月)～3月11日(土)	平成29年 1月16日(月)～1月23日(月)	(一財)福岡県浄化槽協会 TEL：092-947-1800

- 受講資格 学歴・実務経験等の資格要件は特にありません。
- 受講料 129,700円（浄化槽設備士資格取得者で受講一部免除を選択する方は120,200円）
- 受講申請 受講申請書は上記受講申請受付機関より入手してください。
1部300円（郵送の場合は送料込1部440円）
- 問い合わせ先 公益財団法人日本環境整備教育センター
〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL：03-3635-4880
一般社団法人全国浄化槽団体連合会
〒162-0844 東京都新宿区市ヶ谷八幡町13 東京洋服会館7階 TEL：03-3267-9757

平成28年度「浄化槽技術管理者講習会」実施案内

開催場所及び日程（受付期間が平成29年1月以降の分）

開催場所	講習期間	受付期間	受講申請受付機関
東京会場	平成29年 3月1日(水)～3月3日(金)	平成29年 1月23日(月)～1月30日(月)	(公財)日本環境整備教育センター TEL：03-3635-4880

- 受講資格 浄化槽管理士であること。
- 受講料 49,000円
- 受講申請 受講申請書（無料）は上記受講申請受付機関より入手してください。
- 問い合わせ先 公益財団法人日本環境整備教育センター
〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL：03-3635-4880
一般社団法人全国浄化槽団体連合会
〒162-0844 東京都新宿区市ヶ谷八幡町13 東京洋服会館7階 TEL：03-3267-9757

浄化槽保守点検講習会を開催しました



安永エアポンプ(株) 内岡講師



フジクリーン工業(株) 片山講師

平成28年9月14日、協会3階会議室にて浄化槽保守点検の実務者講習会を開催しました。対象者は当協会会員のうち、保守点検部会及び清掃部会に主たる、又は従たる部会として所属している会員です。当日は39名の方々が出席され、大変好評のお声を頂きました。

午後13時30分より清掃部会を代表して宝門副会長の挨拶で始まり、安永エアポンプ(株) 営業グループ 主任 内岡 幹雄氏とフジクリーン工業(株) 技術課 係長 片山 匠氏に講演を行って頂きました。

その後、フジクリーン工業(株)よりお持ち頂いた新型のCA型実物大のカットモデルを使用しての質疑応答を行い、無事講習会を終了いたしました。今後も新型の浄化槽が発表されたら積極的に保守点検講習会を開催してまいります。

浄化槽機能保証制度のお知らせ

平成25年10月からの申請分において、従来の使用開始日以降5年保証から10年保証に変更となり利用しやすくなっております。

(保証登録制度を活用するメリット)

- ・浄化槽業界の負担で、設置者の浄化槽が保証されます。
- ・万一、原因不明の機能異常が発生した場合、保証基金で対応するので安心です。
- ・設置者、市町と工事業者との信頼関係が高まります。

(保証登録の対象となる機能異常)

- ・施工上の瑕疵により保証登録浄化槽(10人槽まで)の機能に異常があると判断された場合です。

(保証期間)

- ・使用開始の日から10年間(平成25年10月1日以降の登録分から)です。
- 但し、駆動部分及び散気管については、使用開始の日から1年間です。

【年末年始のご案内】

年末年始は12月29日(木)～1月3日(火)まで

お休みさせていただきます。

受付業務は1月4日(水)から始めます。

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。



会員ニュース

1. 現在の会員数

会員別	部会	会員数
正会員	施 工	108
	保守点検	43
	清 掃	25
	メーカー	15
小 計		191
賛助会員		3
合 計		194

(平成28年11月30日現在)

謹 賀 新 年

会 長	松 平 仁	理 事	東 浦 崇 真
副 会 長	田 邊 三 郎	〃	芦 田 和 也
〃	強 力 信 宏	〃	岩 澤 理 夫
〃	宝 門 誠	〃	大 森 哲 也
〃	鈴 木 幸 廣	〃	瀬 尾 卓 巳
理 事	北 田 富 三	〃	谷 口 健 太 郎
〃	柴 原 行 正 夫	監 事	志 賀 和 博
〃	吉 村 哲 夫	〃	北 村 康 弘
〃	大 森 省 三 司	〃	豊 田 和 人
〃	中 村 英 司	〃	徳 田 健 司
		事 務 局 長	川 上 国 英